

サーサナ

第13号 仏暦2553（西暦2010）年11月25日

他力本願

仏が私を救うはたらしきではない。

「他力本願」といえば、何やら「他人の助けをあてにして、自分では何も努力しない」というようなイメージがあります。これはたいへんな誤解であります。親鸞聖人は主著『教行信証』において、「他力と言うは、如来の本願力なり」（真宗聖典193頁）と明確になさっています。すなわち、他とは他人ではなく、阿弥陀如来の誓願のはたらきを「他力」というのです。

少し仏教を学んだことのある方は、「浄土真宗は他力だが、禅宗や天台宗は自力の教えである」と言われます。しかしこれも誤解であります。仏教には自力という考え方は存在しません。日本曹洞宗の祖・道元禅師は「仏道を習うと言うは自己を習うなり。自己と習うというは自己を忘るるなり。自己を忘るるというは、万法に証せらるるなり」と述べておられますが、これは他力の教えに他なりません。万法すなわち如来の本願力であります。

仏教は自己否定（無我）の宗教ですから、自力がそのまま肯定されることはありえません。自力は執着心であり、迷いです。

仏教でいうところの「法」、これは真実ということですが、真実は必ず生きてはたらしめます。私たちを動かすパワーがあるのです。これを本願力＝他力といいます。そういうパワーがないものは、真実とはいいません。単なる事実です。仏というも、じつはこのようなはたらきに他なりません。どこか天上世界に金ぴかに輝く超人がいて、私たちを天上に連れていってくれる、とかいうこととは違うのです。

本願力のはたらきによって私たち自身が自己中心の生き方を翻し、他者との共存を見いだす、そのことを真宗では「救い」といいます。

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。

十二月 成道会（じょうどうえ）

成道会は、釈尊の成道（悟りをひらかれたこと）を記念して行われる法要です。日本では、釈尊は12月8日に成道されたと伝承されています。

*日 時 12月9日（木）午前10時～11時半【受付開始は午前9時半】

*内 容 勤行（和文仏教聖典、正信偈）、
DVD「ブツダ大いなる旅路」第3巻上映

*持ち物 『和文仏教聖典』、『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施

*記念施本 『法語カレンダー』（真宗教団連合）、
『今日のことば』（東本願寺出版部）

*終了後、本堂にて9日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。（ご自宅への訪問はありません）

十二月 門徒総会

上記成道会に引き続き、門徒総会を開催します。この一年間の活動報告及び今後の活動計画についての話し合いをします。皆さまのご意見をお聞かせ下さい。終了後、お齋（忘年会）があります。出席される方は、12月4日までにご連絡下さい。参加無料です。

*総 会 正午～午後1時

*お 齋 午後1時～

一月 修正会（しゅしょうえ）

修正会とは、新年を祝い、また求道の決意を新たにするための法要です。家族揃って、初詣を兼ねて本堂にご参拝ください。

*日 時 1月1日（土）午前10時～正午【受付開始は午前9時半】

*内 容 勤行（嘆仏偈・和訳正信偈）、年頭法話、仏典童話ビデオ上映

*持ち物 『和訳正信偈』、『真宗大谷派勤行集』、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施

*記念品 鏡餅（小学生以下のお子さんには菓子袋）

*ぜんぜいの接待があります。

*終了後、本堂にて1日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。（ご自宅への訪問はありません）

二月 涅槃会（ねはんえ）

兼 年間物故者追弔会

涅槃会とは、釈尊の入滅（入涅槃＝完全なる安らぎである死を迎えられたこと）を記念する法要です。本法要にあわせて、2010年の間に亡くなられた当寺御門徒を追弔いたします。

*日 時 2月13日（日）午後2時～4時【受付開始は午後1時半】

*内 容 年間物故者追弔のことば
勤行（和文仏教聖典、正信偈）
住職よりインド聖地巡礼の報告

*持ち物 『和文仏教聖典』、『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施

*記念品 ポストカード

住職の聖地巡礼および休暇のお知らせ

○12月14～22日、住職はインドへ聖地巡礼に出かけます（単独行）。成道の地ブッダガヤおよび初転法輪の地サルナートなどを訪れ、仏教徒としての思いを確かめたいと思っています。

また、下記期日を法務休暇とさせていただきます。

○1月15日 ○2月5日 ○3月25～30日

つきましては、本堂にて下記のとおり一座読経いたしますので、上記期間が命日に当たられるご家族の方は、都合がつく限り、どうぞご参詣下さい。

●12月13日午後1時 ●1月14日午前11時

●2月4日午後1時 ●3月24日午後1時

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことを願いたします。

8月24日 常念院釋尼妙綾（願主・武田様[天白区池場]、10万円）

名古屋別院報恩講

12月13～18日は東本願寺名古屋別院の報恩講です。ぜひ御参拝下さい。日程の詳細を記したパンフレットがあります。希望者にお渡しします。

宗祖親鸞聖人750回御遠忌参拝

宗祖親鸞聖人の御遠忌参拝につきましては、現在32名の方からお申し込みをいただいております。教心寺の参加枠は43名ですので、あと11名の余裕があります。お早めにお申し込み下さい。

御遠忌は50年に一度の大法要です。仏祖宗祖への報恩行として、ごいっしょに参拝いたしましょう。

会費の納入について

会費の期限が今年までになっている方（宛名ラベルの下に[会費2010年まで]と印字されています）は、会費更新をお願いします。1年で1000円ですが、事務軽減のため、複数年を納入していただけるとたすかります。

郵便振替00880-4-68473「教心寺」、または現金手渡しで。

☆仏事のマナー☆

年忌法要はいつまで？

よく「何回忌でトイアゲになりますか？」「年忌法要は何年まで勤めればいいのですか」というお尋ねをいただきます。答えは「年忌法要に終わりはありません」。もちろん、実際問題として二世代前三世代前の年忌法要を勤めることは少ないですし、勤めなければならない、というわけでもありません。ですから、可能な範囲で勤められればよい、と思います。御家庭によって条件はいろいろでしょうから、一律何年まで、ということはありません。

肝心なことは、年忌法要を報恩謝徳と仏法聴聞のご縁とすることです。

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弍（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 F A X：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>